

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、可能な限り同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築が着実に進み、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場において、子どもたちが自立と社会参画のために必要な力を身につけています。

平成 31 年度末での到達目標

子どもたちの自立と社会参画をめざして、一人ひとりのニーズに応じた早期からの一貫した支援が行われ、各発達段階で必要な能力や態度が養われることにより、子どもたちの進路希望が実現しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
特別支援学校 高等部の一般 企業就職希望 者の就職率	100%	100%		100%		100%
目標項目 の説明	一般企業への就職を希望している県立特別支援学校高等部の生徒の就職率 (就労継続支援 A 型事業所を除く)					
29 年度目標値 の考え方	一般企業への就職を希望している生徒全員の希望が実現できることを目標に、毎年 100%に 設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22401 早期か らの一貫した 支援の推進(教 育委員会)	特別支援学級 においてパー ソナルカルテ を活用してい る小中学校の 割合		70.0%		74.7%		100%
		59.2%					
22402 特別支 援学校のキャ リア教育の推 進(教育委員 会)	特別支援学校 版キャリア教 育プログラム を作成した特 別支援学校の 割合(累計)		50.0%		68.0%		100%
		37.5%					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22403 特別支援 学校の整備（教 育委員会）	「三重県特別 支援教育推進 基本計画」に基 づく整備され た特別支援学 校数（累計）		0校		2校		3校
		—					

現状と課題

- ①特別な支援を必要とする子どもたちが増加しており、特に小中学校の通常の学級や高等学校において、発達障がいのある子どもたちへの指導・支援の充実や校種間での円滑な支援情報の引継ぎなど、早期からの一貫した支援体制の充実を図る必要があります。
- ②医療的ケアの必要な児童生徒が、身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、安全で安心な医療的ケアを実施する必要があります。
- ③特別支援学校において、計画的・組織的なキャリア教育を推進するとともに、生徒本人の適性をふまえた就職先および職場実習先を選択・決定できるよう職場開拓を進める必要があります。
- ④特別な支援を必要とする子どもたちがどの学校にも在籍する可能性があることから、小・中・高等学校の教員の特別支援教育に係る専門性の向上を図る必要があります。
- ⑤県立特別支援学校東紀州くろしお学園（本校）、県立子ども心身発達医療センターの開設に合わせて設置する県立かがやき特別支援学校草の実分校・あすなろ分校、県立松阪あゆみ特別支援学校の整備を進める必要があります。

平成 29 年度の取組方向

- ①小・中・高等学校、特別支援学校等の中で指導・支援に必要な情報が確実に引き継がれるよう、パーソナルカルテの作成と活用を促進するとともに、支援体制の充実を図ります。
- ②医療的ケアの必要な児童生徒が、身体的に安定した状態で教育活動に参加でき、付き添う保護者の負担が軽減されるよう、医療的ケアを安全に実施する体制の充実を図ります。
- ③特別支援学校に在籍する高等部の生徒が、進路希望を実現し、地域生活に円滑に移行できるよう、特別支援学校版キャリア教育プログラムの作成と活用を推進するとともに、職場開拓や関係機関等との連携を進めます。
- ④小・中・高等学校の教員の特別支援教育に係る専門性が向上するよう、特別支援学校のセンター的機能としての地域支援の実施や通級指導担当教員を対象とした研修支援等を進めます。
- ⑤県立特別支援学校東紀州くろしお学園（本校）については、平成 29 年 4 月に新校舎での学習がスタートすることから、新たに整備した作業学習室での実習等、教育内容の充実に向けた取組を進めます。また、県立子ども心身発達医療センターの開設に合わせて設置する県立かがやき特別支援学校草の実分校・あすなろ分校については、同年 4 月現地で開校し、6 月に移転することから、新しい学習環境へスムーズに移行できるよう学習内容等を引き継ぐとともに、教員の専門性の向上を図ります。さらに、県立松阪あゆみ特別支援学校は平成 30 年 4 月の開校をめざし、施設の整備を進めます。

主な事業

- ①早期からの一貫した教育支援体制整備事業【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 19,596千円 → (29) 18,158千円
事業概要：特別な支援を必要とする児童生徒の自立と社会参画に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その可能性を最大限に伸ばすため、パーソナルカルテの活用促進や指導・支援に係る研修会の実施など、支援体制の充実を図ります。
- ②特別支援学校メディカル・サポート事業【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 4,209千円 → (29) 8,857千円
事業概要：医療的ケアの必要な児童生徒が身体的に安定した状態で教育活動に参加でき、付き添う保護者の負担が軽減されるよう、常勤講師（看護師免許所有）および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、医師等と連携した校内支援体制の充実を図ります。
- ③特別支援学校就労推進事業【基本事業名：22402 特別支援学校のキャリア教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(28) 13,230千円 → (29) 6,055千円
事業概要：特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、特別支援学校版キャリア教育プログラムの作成と活用、教育課程の見直し、外部人材の活用等を図るとともに、企業、関係機関等と連携することで、高等部生徒の進路希望を実現します。
- ④特別支援学校施設建築費【基本事業名：22403 特別支援学校の整備】
（第10款 教育費 第5項 特別支援学校費 1特別支援学校費）
予算額：(28) 3,779,598千円 → (29) 1,557,552千円
事業概要：県立松阪あゆみ特別支援学校の建設や既存施設の老朽化対策など、教育環境向上のための整備を進めます。
- ⑤特別支援学校学習環境等基盤整備事業【基本事業名：22403 特別支援学校の整備】
（第10款 教育費 第5項 特別支援学校費 1特別支援学校費）
予算額：(28) 202,001千円 → (29) 164,577千円
事業概要：県立かがやき特別支援学校（分校）、県立松阪あゆみ特別支援学校の建設に伴う備品等の整備を進めます。